低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

数算学数

理科

生活 外国語

活特 動別

道徳

育成したい 国語力

自分の考え方や意図の根拠となる理由をもとに筋道を立てて説得力をもって話す。 事実と意見、推論や予測、考え方の根拠を区別しながら、内容を吟味し、批判的に 聞き取る。

情報を活用しよう「聞き上手になろう」・吟味して聞こう

単元の 流れ

第1時 (聞くトレーニング)

・的確に聞く。 要約する。

テーマについ てスピーチの 原稿を書く。

第2時

第3時(本時)

・スピーチを要約 する。

第4時

・要約文の提示と 反論・疑問点の 発表をする。

モジュール (聞くトレーニング) 「大切に聞こう」短時間トレーニング

本時の目標

- ・話し手の伝えたい内容を的確に聞き取り、要約する。(聞く能力)
- ・話し手の伝えたい内容を批判的に聞き取り、自分の考えを深める。(聞く能力)

本単元では、聞き上手になるために、相手の話を吟味して批判的に聞き、考える 力の育成をめざして、日常的な・継続的にトレーニング的な学習と、話すことと聞 くことを組み合わせた実用的なスピーチ場面やグループ討議の場面での学習を設定 します。

国語力育成の視点

事実や根拠などに注意しながら、話の内容を正確に聞き取ことができる。

話を分析的・批判的に聞き、自分の意見や考えを組み立てることができる。

の中の「話を聞き取り、内容を理解する」ことの具体的な目安として、

場面に応じて最後まで集中して聞くことができる。

聞いた内容をメモに取ったりして、話の構成や展開を理解できる。

文化審議会答申(平成 16 年)で示された、「望ましい国語力の具体的な目安」

本時の流れ

導入

一斉

本時の目標を確認

「問題意識をもって相手の話を聞く」

前時の学習の確認

スピーチのテーマと内容、発表者の確 認をする。

「地球温暖化」の資料を確認する。

展開1

ゲループ

前のグループのスピーチを聞き メモを取る。

事実と意見・意見の根拠を聞き 分ける。

- ワークシートに要約文を書く。 ・自分の意見と比べる。
- ・疑問点や質問、反論を書く。

展開 2

グループ

グループで各自の要約文を 出し合い、反論やその根拠、 質問や疑問点等を検討す る。

などが示されています。

聞き取った要約文と質問や 反論を発表する各グループ の代表者を選出する

まとめ

本時のまとめ

グループのスピーチに対する要約と、それに対する自 分なりの意見や疑問や反論を書くことできたか自己評 価する。

次時の予定

各グループの代表者は、他のグループのスピーチに対 する要約と疑問点や反論を発表する。質問や反論を出 されたグループはメモを取り、それに対する説明や反 論を考える。

視 点 1

自分の考えと比べることによっ て問題意識をもって相手の意見を 聞き取る力を付けます。

視 点 2

グループで討議することによ って、批判的に聞き取ったことを さらに深く考え、自分の意見を 深めることができます。

「第1時のトレーニング」

的確に聞く

絵や写真について口頭で説明し、それをよく聞く。説明が終了したら絵を描く。完成したら友 達やグループで確認し合う。

要約する

話し手と聞き手を決める。話し手は「今自分が興味をもっていること(例)」について数 分間話す。聞き手は話し手の話が途切れないようにいろいろなことを質問して、たくさん のことを聞き出す。

時間が来たら聞き手は話し手の言いたかったことを要約する。

る話題や要点を要にませばいます。 紊約の視点

● 発言の内容に論理的な矛盾はないか。 ・ 意見や考えに根拠が示されているか。 ・ 発言内容が目的や場面に応じているか。 ・ 発言内容が目的や場面に応じているか。 りこれにでいまする。 お題や要点を要約する。 や述語、目的語等を明確にして話の計かとうした」「何をどうするのか の か ない

グループの代表がスピーチを行う。朝食はご飯がいいかパンがいいか。入ビーチテーマ(例) 心等 で深め と、

だけに集中し、大授業のはじまり 付に聞こう」 の話を大切に聞く。 る音に気付

「モジュールで短時間集中して聞く」

意識的に聞く大切さを習得 いたり、 自分たちの切の短時間、 教師 の 声周聞、 á 友達

聞くトレーニング

(51)